

# JCES ニュース

Japan Comparative Education Society, No. 45

## 目次

1. [第 60 回大会のご案内](#)
2. [各種委員会からのお知らせ](#)
3. [学会創設 60 周年記念事業について](#)
4. [お知らせ](#)
  - 学会への寄贈図書
  - 新入会員
  - 年会費納入のお願い
  - 総会の開催について
  - 特別会員制度について

## 1. 第 60 回大会のご案内

### 第 60 回大会準備委員長 服部 美奈

メーリングリストや紙媒体の大会案内を通して、すでに皆さまにお知らせさせていただきましたように、2024 年 6 月 28 日（金）～30 日（日）に名古屋大学で日本比較教育学会第 60 回大会を開催させていただくこととなりました。東海地区での開催は、1967 年の第 3 回大会（名古屋大学・愛知教育大学、開催場所：名古屋共催会館）、1979 年の第 15 回大会（名古屋大学、開催場所：名古屋市王山会館）、1993 年の第 29 回大会（愛知淑徳短期大学・名古屋大学、開催場所：愛知淑徳短期大学）、2004 年の第 40 回大会（名古屋大学）、2014 年の第 50 回大会（名古屋大学）に続き 6 度目となります。

第 60 回大会は一部オンラインを取り入れつつ、対面を重視した開催を予定しております。そして、日本比較教育学会が 2025 年 3 月に創設 60 年を迎えることから、今大会では学会創設 60 周年プレ企画も考えております。大会日程については、ほぼ例年同様に組んでおります。

大会への参加・発表申し込み、発表要旨の登録などにつきましては、例年同様、ウェブ上で行っていただくことができます。プログラムにつきましても、郵送はせずにウェブ上からダウンロードしていただく形となります。詳しくは大会ホームページでご確認いただけましたら幸いです。

大会準備委員会一同、会員の皆さまにご不便のないよう、できる限りの準備を心がけます。実り多い大会となりますよう、多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

- ・日本比較教育学会第 60 回大会ホームページ

<http://www.gakkai.ne.jp/jces/taikai/60/>

・大会日程および開催地

2024年6月28日（金）～30日（日）名古屋大学東山キャンパス

	9:00	12:00	13:00	15:00	17:00	18:00	19:00
6月28日(金)			常任理事会	全国理事会	ラウンドテーブル		
6月29日(土)	自由研究発表 I 60周年プレ企画	自由研究発表 II	課題研究 I・II	総会	情報交換会		
6月30日(日)	自由研究発表 III	ブックトーク	自由研究発表 IV	シンポジウム 若手研究者交流会			

\* 時間帯は概要を示しています。

・大会当日までの主な日程

2024年3月 1日(金)	発表申込受付開始／参加申込受付開始
2024年4月 5日(金)	発表申込締切（18時まで）
2024年4月 12日(金)	発表要旨提出開始
2024年5月 9日(木)	発表要旨提出締切（18時まで）
2024年5月 16日(木)	大会プログラム（PDF）のウェブ公開
2024年6月 10日(月)	発表要旨集録（PDF）のウェブ公開 ※大会参加費支払済の方のみ
2024年6月 30日(日)	参加申込・大会参加費払込締切（12時まで）

・大会参加費等の振込みのお願い

大会参加費等のお支払いは、原則クレジットカードによる決済をお願いいたします。参加申込完了画面からクレジット決済の手続きができます。大会参加費のお支払いは6月30日（日）正午まで受け付けます。なお、お支払い済の大会参加費等は理由のいかんを問わず、返却いたしません。

日本比較教育学会第60回大会準備委員会 連絡先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 松本麻人（大会事務局長）研究室気付 日本比較教育学会第60回大会準備委員会宛 E-mail: jces60nu@gmail.com
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 2. 各種委員会からのお知らせ

### 平塚賞運営委員会 委員長 乾 美紀

平塚賞は、初代会長平塚益徳博士の業績を記念し、比較教育学研究の発展を期して、若手学会員の研究を奨励することを目的としています。選考の対象となる「若手学会員」は、著作が発表された時点で、40歳程度を上限とする学会員としています。平塚賞についての詳細やこれまでの受賞記録につきましては、学会ホームページに掲載しておりますのでぜひご覧ください。留学生や海外の研究機関に属する会員の増加に伴い、現在、応募要領を英語でも公開できるよう準備を進めています。新型コロナウイルスの影響が収まりつつあり、再び自由に海外調査ができるようになりましたので、若手の方々、ぜひご研究の集大成を公刊し、積極的に応募して下さいませ。

### 紀要編集委員会 委員長(前期) 福留 東土

紀要編集委員会ではこの度、オンライン投稿システムを導入しました。2024年1月期限の第69号の投稿分から受付を開始しました。システムは順調に稼働しており、多くの会員に利用いただきました。当面、2024年7月投稿期限の70号までは、従来通り、郵送による投稿も受け付ける予定です。それ以降はオンライン投稿のみに一本化することを予定しています。詳しい情報は学会ウェブサイトを確認して下さい。

投稿のオンライン化により、従来の郵送提出に必要な論文や書類の印刷、コピー作成の手間がなくなりました。また、海外からの投稿については原稿の到着日を気にせずに投稿してもらえるようになりました。今後、多くの会員に利用してもらい、学会の研究活動の活性化に寄与できれば幸いです。

なお、オンライン投稿システムへの移行措置として、現在、投稿要領をオンライン用と郵送用の2つ、運用しています。論文執筆に関わる内容は双方に共通ですので会員の論文執筆に直接影響する点はありませんが、提出の際には必要書類をすべて要領に沿った形で準備できているか、確認をお願いします。チェックシートを準備していますので、活用して下さい。

また、近々、68号を会員の皆様のお手元にお届けできる予定です。

### 研究委員会 委員長 佐藤 仁

今期の研究委員会は、3年間の研究テーマとして比較教育学の学問論を設定し、多角的に学問としての比較教育学を考える場を作り、議論していきたいと考えています。例えば、他の学問領域で展開されている「比較」を冠する領域との差異、比較教育学における規範研究の位置づけ等が考えられます。普段の研究活動において疑問に感じたり、揺らいだりすることを基に、会員の皆さんと一緒に学問論を進めていきたいと思っております。ぜひ、様々なアイデアや思いを研究委員会にお寄せいただければ幸いです。また、第60回大会での課題研究のテーマについても、

委員会で検討しております。詳しくは、大会案内をご確認ください。

**国際交流委員会**  
**委員長 黒田 一雄**

2023 年 12 月 15 日に、劉靖国際交流委員会委員の主導の下、東北大学大学院教育学研究科と日本比較教育学会国際交流委員会との共催により、国際シンポジウム「アジア太平洋地域における高等教育の国際化・内生性・地域化の再検討：東西対話を通して」を開催しました。ハイブリッド形式で開催し、13 カ国から 134 名の参加がありました。プログラムは以下の通りです。

総合司会 劉靖 東北大学准教授  
開会挨拶 佐藤 邦明 東北大学副学長（改革・企画担当）  
基調講演「高等教育の国際化・内生性・地域化」  
Simon Marginson オックスフォード大学教授  
Rui Yang 香港大学教育学部長・教授  
講演 「日本の高等教育国際化とアジア太平洋関係の検証」  
米澤彰純 東北大学教授  
コメント・パネルディスカッション  
北村友人 東京大学教授  
Zhou Zhong 清華大学准教授  
黒田一雄 早稲田大学教授、他

また、国際交流委員会では、服部美奈・山田肖子 WCCES 担当理事と協力しながら、今年 7 月に米国コーネル大学で開催される WCCES 世界大会において、日本比較教育学会パネルを開催すべく、計画しています。

**広報委員会**  
**委員長 丸山 英樹**

現在、広報活動としては、紀要の J-Stage へのアップロード継続、メーリングリストの効率的運用、公式 Web サイトの抜本的更新、ソーシャルメディアの有効活用方法を探求するの 4 点について、委員会で整理しています。適時、委員会に対してアドバイザーにご就任いただいた会員の先生方には、本委員会に対して助言する仕組みを作って参ります。

特に、Web サイトについて動かす必要性を認識しており、英語での情報共有に注力すると同時に、中国語ページの廃止を予定しています。SNS については、まだ模索中ですが、CESA など他の経験を参考に X/Twitter の是非と利用目的を次回の理事会において提案して参ります。最後に、立ち上げたもののほとんど使われていない Facebook については閉鎖しましたことご報告差し上げます。

**若手ネットワーク委員会 (Y-Net)**  
**委員長 鴨川 明子**  
**学生会員代表 八木 歩**

1. 第1回若手研究者座談会を開催しました。

日時：2023年12月6日（水）19:00～20:30（JST）

方法：Zoomによるオンライン開催

トークテーマ：「研究テーマとの出会い」

- ・現在の研究テーマ（及び対象地域・国）と出会った時期・きっかけ
- ・修士から博士、博士から early career でのテーマの関連性・広がりを持たせ方
- ・共同研究など複数の研究テーマを持った経験 など

企画・運営：松田華織（神戸大学大学院）、吉岡香奈（東京大学大学院） 他

参加人数：16人

2. 第1回若手による若手のための読書会を開催しました。

課題図書：杉本均・南部広孝（編著）『リーディングス 比較する比較教育学』（2023年、東信堂）

日時：2023年12月13日（水）18:00～20:30（JST）

方法：Zoomによるオンライン開催

当日の流れ

- ・説明・各章に分担
- ・各自読む・各章ごとに内容をまとめる
- ・各章ごとに5分程度で内容を発表
- ・それぞれの内容についてコメント共有

企画・運営：宮村侑樹（大阪大学大学院） 他

参加人数：16人

3. メンバーと企画の募集

Y-Net の運営にたずさわりたい学生会員（大学院生）や若手研究者を募集いたします。また、本委員会へのご要望（企画案）などありましたら、ぜひご意見を下記問い合わせまでお寄せください。

問い合わせ メール [jces.ynet@gmail.com](mailto:jces.ynet@gmail.com)

Facebook [https://m.facebook.com/profile.php?id=100075852171874&locale=ms\\_MY](https://m.facebook.com/profile.php?id=100075852171874&locale=ms_MY)

**世界比較教育学会（WCCES）からのお知らせ**  
**担当理事 服部 美奈・山田 肖子**

メーリングリストでも皆さまにお知らせいたしましたが、第18回 WCCES 世界大会（XVIII World Congress of Comparative Education Societies）が、米国コーネル大学で2024年7月22日～26日に開催されます。今大会のテーマは、"Fostering Inclusive Ecologies of Knowledge: Education for Equitable and Sustainable Futures"です。今大会は、ユネスコの共催とともに、NGVO とインド太平洋比較教育学会（IOCES）が共同運営されています。詳しくは大会ホームページをご覧ください。皆さまの積極的なご参加をお待ちしています。

Website: <https://www.wcces2024congress.org/>

**教育関連学会連絡協議会**  
**担当理事 杉村 美紀**

教育関連学会連絡協議会から以下の2点についてご報告いたします。

1. 教育関連学会連絡協議会シンポジウムについて（報告）

教育関連学会連絡協議会では、2024年3月9日（土）に以下の公開シンポジウムを開催しました。本シンポジウムは650名の登録があり、当日も最大で450名の参加をいただき、皆様の高い関心が寄せられました。

**【2023年度 教育関連学会連絡協議会主催 公開シンポジウム】**

タイトル：大学における教員養成の未来—「グランドデザイン」をめぐって

日時：2024年3月9日（土）、14時30分～17時00分 オンラインのみ

概要

近年、教職関連の改革が急ピッチで進められています。それらは「養成・採用・研修の一体的改革」を指向し、「大学における教員養成」に重要なインパクトを及ぼすと考えられます。大学で教員養成及び教育学研究に携わる者にとって、大学における教員養成の未来はどうあるべきかを真剣に問い直すべき時期だと考えます。

本協議会加盟団体の1つである日本教師教育学会の研究グループが作成した「今後の教師教育の『グランドデザイン』」を題材として、社会科教育学、数学教育学、教育哲学のそれぞれの立場から意見を出していただき、参加者の間で討議を行い、教員養成の未来について議論を深めたいと思います。

<司会>

吉田 文（早稲田大学）

松下佳代（京都大学）

<話題提供>

「今後の教師教育の「グランドデザイン」」

日本教師教育学会第11期課題研究「大学教育と教師教育」担当グループ

浜田博文（筑波大学）、鹿毛雅治（慶應義塾大学）、勝野正章（東京大学）、

牛渡淳（仙台白百合女子大学名誉教授）、岩田康之（東京学芸大学）

<指定討論>

社会科教育学の立場から 唐木清志（筑波大学）

数学教育学の立場から 日野圭子（宇都宮大学）

教育哲学の立場から 生田久美子（田園調布学園大学）

2. 教育学関連学会連絡協議会総会について（報告）

去る3月9日（土）午後1時～2時40分まで、第12回総会がオンラインで開催されました。当日は、吉田文会長、松下佳代事務局長のもと、2023年度の活動報告、収支決算が報告・

承認されました。また先般行われた次期運営委員会選挙の結果に基づき、慣例により、日本学術会議推薦により選出された勝野正章委員が会長に、また上野正道委員が事務局長に就任することが承認されました。次期運営委員会を構成する学協会は日本教育学会、日本教育心理学会、教育史学会、日本教育行政学会、日本教育方法学会、日本教育社会学会、日本教師教育学会、教育哲学会、日本保育学会、日本カリキュラム学会、教育思想史学会です。

以上

### 3. 学会創設60周年記念事業について

担当理事 森下 稔

日本比較教育学会は1965年3月31日に第1回大会が開催され、2025年3月31日に60周年を迎えます。このことを記念し、学会の歩みを記録するとともに、今後の学会活動の発展に資するため、記念日前後の第60回大会（2024年度）から第61回大会（2025年度）にかけて、学会創設60周年記念事業を実施します。

この事業のために、学会創設60周年記念事業実行委員会を組織することが、2024年2月11日の常任理事会で承認されました。森下稔担当理事と市川桂担当幹事が所属する東京海洋大学に実行委員会事務局をおきます。委員には、服部美奈会長、松本麻人事務局長に加わっていただくとともに、理事・幹事などから選任される予定です。また、西野節男会員には後述の特別企画にご助言いただくために実行委員会顧問としての就任を依頼します。

主な事業計画は下記の通りです。

#### 1. 『日本比較教育学会60年の歩み』の発刊

『日本比較教育学会50年の歩み』（CD-ROM版）をベースに、その後の10年間の記録を追加します。発刊・公開の方法については実行委員会が検討します。

#### 2. 歴代会長経験者およびシニア世代からの聞き取り

会長任期中や過去の学会活動についてインタビューし、『日本比較教育学会60年の歩み』に加えます。

#### 3. 特別企画「フィルムカメラの時代の比較教育学」

2000年代にデジタルカメラが一般に普及し始めるまで、フィールドでの写真撮影の主役はフィルムカメラでした。20世紀の比較教育学を記録してきたフィルムカメラで撮影された写真（静止画）は、会員の個人的な整理・収蔵に任されてきたのが実情です。フィルムやカメラの特性のためかなりの労力と資金がつき込まれて撮影された写真は、管理や整理が難しく、未整理のままに劣化し、会員のご退職やご逝去を機に廃棄されて失われていく危機にあります。この時期を逸すると、会員の大半がフィルムカメラの時代を知らない世代となり、貴重な記録が二度と回復できなくなるかもしれません。

第60回大会では、フィルムカメラの時代を知る会員にその保存と活用をよびかけ、デジタルカメラ世代の会員にも保存と活用の意義を広めるプレ企画を実施する計画です。

### 4. お知らせ

#### ●学会への寄贈図書

- 秋庭裕子、米澤由香子編著『多文化ファシリテーション：多様性を活かして学び合う教育実践』、明石書店、2023年。
- イングリト・ゴゴリン、ヴィオラ・B・ゲオルギ、マリアンネ・クリューガー＝ボトラ

ツツ、ドロリト・レンギエル、イウーヴェ・サントフクス編著、立花有希、佐々木優香、木下江美、クラインハーペル美穂訳『異文化間教育ハンドブック：ドイツにおける理論と実践』、明石書店、2024年。

- 小野由美子著『南アフリカへの授業研究の移転に関する研究』、学術研究出版、2023年。
- 中西啓喜著『教育政策をめぐるエビデンス：学力格差・学級規模・教師多忙とデータサイエンス』、勁草書房、2023年。
- 松本麻人、石川裕之、田中光晴、出羽孝行編著『現代韓国の教育を知る——隣国から未来を学ぶ』明石書店、2024年。
- 渡邊雅子著『「論理的思考」の文化的基盤—4つの思考表現スタイル』、岩波書店、2023年。

図書・刊行物の送付、学会運営に関する連絡

〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学大学院教育発達科学研究科  
日本比較教育学会事務局（松本研究室）

E-mail: jcesjimu@outlook.jp

TEL: 052-789-2634

（不在のことが多いため、できるだけメールでご連絡ください。）

## ●新入会員

<WEB版では非公開>

## ●年会費納入のお願い

年会費納入状況をご確認いただき、未納分がある方は下記の口座へ早めのご納入をお願いいたします。紀要は年2回発行ですが、本学会では当該年度の会費納入を確認後、学会紀要『比較教育学研究』をお送りしています。3年を超えて会費未納の方は会員資格を失います。

〔郵便振替口座〕00820-6-16161 日本比較教育学会事務局

### 【注意】

所属機関名にて振込を行われる場合は、該当会員を特定することが難しいため、必ず事務局へご連絡をお願いします。

「学生会員」として登録されている会員で、所属・身分等の変更により「学生」でなくなった方は、会員情報管理システムにて通常会員へ資格変更の上、通常会員としての年会費（10,000円）をお支払いください。

会員情報、入退会、会費、システム、HP  
に関する連絡

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-39-2-401

(株)ガリレオ 東京オフィス

学会業務情報化センター内

日本比較教育学会事務局

Tel: 03-5981-9824/ Fax: 03-5981-9852



## ●総会の開催について

日本比較教育学会では、本会の最高決議機関である総会の開催について、「年一回これを開き本会の重要事項を審議決定する。」（会則第5章第18条）とされています。本年度の第60回大会総会の詳細については、また追ってメーリングリストを通じてお知らせいたします。

## ●特別会員制度について

すでにご案内申し上げますとおり、2020年8月に開催された総会にて、「特別会員」制度が認められました。この制度は「本会に対して一定の貢献があり、原則として10年以上にわたり本会の会員である者。かつ、常勤の定職にはついておらず学生の身分ではない者。」（会則第4条関係：細則第2条）となっており、会費は年額金6,000円です。特別会員になる場合には、学会事務局に申込み、常任理事会での承認を得ることとされています。お申し出は随時、学会事務局（jcesjimu@outlook.jp）で受け付けております。